することの意味や意義に気付くようにすること。また，科目の内容に関係する専門家や関係諸機関などとの円滑な連携・協働を図り，社会との関わりを意識した指導を工夫すること。

オ　活用する資料の選択に際しては，生徒の興味・関心，学校や地域の実態などに十分配慮して行うこと。

カ　指導に当たっては，客観的かつ公正な資料に基づいて，事実の正確な理解に導くとともに，多面的・多角的に考察し公正に判断する能力を育成すること。その際，核兵器などの脅威に着目させ，戦争や紛争などを防止し，平和で民主的な国際社会を実現することが重要な課題であることを認識するよう指導を工夫すること。

(2)　内容の取扱いに当たっては，次の事項に配慮するものとする。

ア　内容のA，B，C及びDについては，この順序で取り扱うものとし，A，B及びC並びにDの(1)から(3)までの学習をすることにより，Dの(4)の学習が充実するように年間指導計画を作成すること。

イ　内容のAについては，次のとおり取り扱うものとすること。

この科目の導入として位置付け，(1)，(2)の順で取り扱うこと。また，中学校社会科の学習の成果を踏まえ，より発展的に学習できるよう留意するとともに，B，C及びDの学習の基盤を養うよう指導を工夫すること。

(1)については，中学校社会科の学習を踏まえ，生徒の空間的な認識に広がりをもたせるよう指導を工夫すること。

(2)については，資料から読み取る諸事象の解釈の違いが複数の叙述を生むことを理解できるよう具体的な事例を取り上げて指導すること。また，歴史の叙述には，諸資料の検証と論理性などが求められることに気付くようにすること。

ウ　内容のBについては，次のとおり取り扱うものとすること。

(1)については，中学校までの学習及びAの学習を踏まえ，学習内容への課題意識をもたせるとともに，(2)，(3)及び(4)の学習内容を見通して指導すること。

(2)のアについては，日本の美術などのアジアの文物が欧米諸国に与えた影響に気付くようにすること。また，欧米諸国がアジア諸国に進出し，軍事力を背景に勢力拡張を目指した競争が展開され，アジアの経済と社会の仕組みが変容したことにも触れること。また，アジア貿易における琉球（りゅうきゅう）の役割，北方との交易をしていたアイヌについて触れること。その際，琉球（りゅうきゅう）やアイヌの文化についても触れること。

(3)のアの(ｱ)については，人々の政治的な発言権が拡大し近代民主主義社会の基礎が成立したことや，国民国家以外の国家形態が存在したことにも触れること。また，富国強兵や大日本帝国憲法の制定など日本の近代化への諸政策については，この時期に日本の立憲国家としての基礎が形成されたことや，それらと欧米諸国の諸政策を比較するなどして近代国家として日本の国際的地位を欧米諸国と対等に引き上げようとするものであったことに気付くようにすること。また，日本の国民国家の形成などの学習において，領土の画定などを取り扱うようにすること。その際，北方領土に触れるとともに，竹島，尖閣諸島の編入についても触れること。

(3)のアの(ｲ)については，アジア諸国では，近代化に向けた動向や民族意識の形成など，主体的な社会変革への動きがあったことにも気付くようにすること。また，日本の近代化や日露戦争の結果が，アジアの諸民族の独立や近代化の運動に与えた影響とともに，欧米諸国がアジア諸国へ勢力を拡張し，日本が朝鮮半島や中国東北地方へ勢力を拡張したことに触れ，各国の国内状況や国際関係の変化に気付くようにすること。

(4)については，一つ，あるいは複数の観点について取り上げ，これまでの学習を振り返り適切な主題を設定すること。その際，自由・制限，平等・格差，開発・保全，統合・分化，対立・協調などの観点に示された二つの要素のどちらかのみに着目することのないよう留意すること。

エ　内容のCについては，次のとおり取り扱うものとすること。

(1)については，中学校までの学習並びにA及びBの学習を踏まえ，学習内容への課題意識をもたせるとともに，(2)，(3)及び(4)の学習内容を見通して指導すること。

(2)のアの(ｱ)については，社会主義思想の広がりやロシア革命によるソヴィエト連邦の成立が，その後の世界に与えた影響にも触れること。また，国際連盟の成立，国際的な軍縮条約や不戦条約の締結などを扱い，その中で日本が果たした役割や国際的な立場の変化について触れること。

(2)のアの(ｲ)については，世論の影響力が高まる中で民主主義的風潮が形成され，日本において議会政治に基づく政党内閣制が機能するようになったことに触れること。

(3)のアの(ｱ)については，世界恐慌による混乱，日本の政治体制や対外政策の変化，国際協調を基調とするこれまでの国際秩序の変容などについて触れること。その際，当時の政治制度の特性や国際情勢に触れる